

広大な干潟、美しい景観、楽しいマジック釣り、おいしいノリ
群れ飛ぶ渡り鳥、荒尾干潟はみんなの宝物です



世界湿地の日  記念

荒尾干潟のワイズユースを考えるシンポジウム

2013年2月2日(土) 午後1時～4時30分 / シティホール(荒尾市緑ヶ丘1-1-1
あらおシティモール2階) 入場無料

荒尾干潟のすばらしさ、賢明な利用をみんなで話しあうシンポジウムです



渡り鳥の重要な越冬地・中継地である荒尾干潟が、2012年7月、「国際的に重要な湿地」としてラムサール条約湿地に登録されました。荒尾干潟は、熊本県荒尾市沿岸の1656ヘクタールの広大な干潟。ノリやアサリ、アナジャコなどの漁場として、釣りや潮干狩り、雲仙岳を望む美しい景観の観光・レジャーの場として、かけがえのない価値をもった干潟です。

ラムサール条約の基本理念は、湿地の「保全」と「賢明な利用(ワイズユース)」です。世界に認められた荒尾干潟をどう守っていくか、どのようにワイズユースするか、市民のみなさんの知恵と参加が求められています。そのために、シンポジウムを開催します。

国際法と干潟の専門家、条約湿地でワイズユースを実践する北海道と沖縄の代表をお招きして、お話を聞くとともに、地元「荒尾干潟保全・賢明利活用協議会」のみなさんといっしょに、荒尾干潟のすばらしさ、これからの荒尾干潟のあり方を話しあいます。市民のみなさんのご意見、アイデアもお聞かせください。



荒尾市マスコットキャラクター「マジックキー」

プログラム / 平成25年2月2日(土)

13:00 開会 (開場 12:30)

講演

「ラムサール条約のねらい」
岩間徹 (西南学院大学法学部教授)

「有明海の価値と干潟の生きもの」
山口敦子 (長崎大学水産学部教授)

全国のラムサール条約湿地からの報告

「風蓮湖の活用と保全」
松原政勝 (北海道・風蓮湖流入河川連絡評議会)

「漫湖水鳥・湿地センターと市民参加」
賀数弘 (沖縄県那覇市環境保全課)

子ども特別報告

「ESDのためのKODOMOラムサール
(藤前干潟)」に参加して
荒岡優花・荒木琴海 (荒尾第一小学校6年)

パネルディスカッション

「荒尾干潟の保全と賢明な利用」

パネリスト

矢野浩治
(荒尾漁業協同組合代表理事組合長)

山代秀徳
(荒尾市観光協会会長)

西島清明
(清里地区協議会会長)

安尾征三郎
(日本野鳥の会熊本県支部荒玉地区幹事)

コーディネーター

中村玲子
(ラムサールセンター事務局長)

16:30 閉会

主催：環境省九州地方環境事務所 荒尾干潟保全・賢明利活用協議会 協力：ラムサールセンター

問合先 環境省九州地方環境事務所野生物課 ☎096-214-0339
荒尾市役所市民環境部環境保全課 ☎0968-63-1386

ラムサール条約は、1971年にイランのラムサールで採択された、湿地の保全と賢明な利用をめざす国際湿地条約。湿地は、川や池、沼、湖、湿原、田んぼ、サンゴ礁、浅海、干潟など水がある湿った場所で、生物多様性の宝庫。干潟は、生産性の高い漁場であり、レジャーや観光、憩いの場として、渡り鳥の中継地として人と生きものに豊かな恵みをもたらしています。荒尾干潟は、ラムサール条約登録番号「2054」の国際湿地です。

*2月2日はラムサール条約が採択された記念日で世界中でイベントが開催されます。

